

科目名	臨床心理学						授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期		1年	後期
【授業の目的・ねらい】 対人援助職として基本的な臨床心理学の知識および技法を身につける。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 言語聴覚士として対人援助を行う上で把握しておくべき臨床心理学の基本的な知識と心理療法について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①言語聴覚士に求められる臨床心理学の基本的知識の習得 ②言語聴覚士国家試験の臨床心理学分野の正答率向上につなげるための基礎力の習得 ③対人援助職者に求められる倫理観、心構え、ソーシャルスキルの習得											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	臨床心理学とはどのような学問かを理解できる。										プリント
2	基本理論について理解できる①										プリント
3	基本理論について理解できる②										プリント
4	ICDとDSM-5について理解できる。										プリント
5	精神疾患と異常心理について理解できる①										プリント
6	精神疾患と異常心理について理解できる②										プリント
7	精神疾患と異常心理について理解できる③										プリント
8	心理アセスメントについて理解できる①										プリント
9	心理アセスメントについて理解できる②										プリント
10	心理アセスメントについて理解できる③										プリント
11	心理療法について理解できる①										プリント
12	心理療法について理解できる②										プリント
13	心理療法について理解できる③										プリント
14	心理療法について理解できる④										プリント
15	まとめ										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第3版』											
【準備学習・時間外学習】 復習による基礎知識の整理が必要です。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。											